

ミカドテクノス株式会社

# 環境活動レポート

対象期間：2017年1月1日～2017年12月31日

環境方針

事業活動の概要

環境目標

活動計画

環境目標の実績・評価

環境への取組結果の評価と次年度の取組

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

代表者による全体評価と見直し



2018年2月8日発行

2018年4月3日改訂

# << 環境方針 >>

## 環境理念

常に環境保全に配慮した考えで行動し、地球環境の改善美化に皆で取り組み、限りある資源を大切に作るものづくり企業を目指します。

## 行動方針

ミカドテクノス株式会社はプレス部品の生産、及び機械装置の製造活動に際して、下記項目を重点課題として環境保全活動に取り組みます。

1. 環境マネジメントシステムを構築し、継続的に環境保全の改善活動に努めます。
2. 環境保全に関連する法規制および地域の環境保全協定を遵守し、環境汚染の防止に全員で取り組みます。
3. 限りある資源を有効的に活用し、地球環境の保全美化に全員で取り組みます。
4. 環境負荷が大きい以下の重要課題に関して継続的改善に取り組みます。
  - 1) 地球の温暖化防止としてのCO<sub>2</sub>の排出管理  
(ガソリン、軽油、灯油、可燃ごみ、電気エネルギーの削減)
  - 2) 限りある資源の有効活用  
(ダンボール、コピー用紙のリサイクル、不燃ごみの削減)
  - 3) グリーン購入の推進
  - 4) 自社製品に於ける環境負荷の削減  
(環境に配慮した部品等の調達及び製品の省電力化)
  - 5) 製造工程に於ける環境負荷削減のための効率化
5. 社員に必要な教育を行い、環境方針の周知徹底と環境保全の意識の高揚を図ります。

2012年1月31日  
ミカドテクノス株式会社  
代表取締役社長  
伊藤 隆志

## 事業活動の概要

### 1) 事業社名及び代表者名

ミカドテクノス株式会社  
代表取締役社長 伊藤 隆志

### 2) 所在地

本社工場  
〒399-4603  
長野県上伊那郡箕輪町大字三日町888

### 3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理統括責任者 代表取締役社長 伊藤 隆志

本社工場 環境管理責任者 工場長 伊藤 丈一  
連絡先 電話 0265-79-2323  
FAX 0265-79-2190  
E-MAIL mikado@mikado-net.co.jp

### 4) 事業の内容

マシンプロダクト課：機械装置の設計・製造  
パーツプロダクト課：プレス加工部品製造、機械装置の設計・製造

### 5) 事業規模

本社工場 売上高 5億7千万  
人員総数 21名  
床面積 1372㎡

# 環境目標

## 中期目標

	単位	2011年 基準年度	2017年目標 基準年-6%	2018年目標 基準年-7%	2019年目標 基準年-8%
化石燃料の削減 (自動車)	ℓ/万円 (売上高比)	0.088	0.083	0.082	0.081
	kg-CO <sub>2</sub>	11,062	10,398	10,288	10,177
化石燃料の削減 (灯油)	ℓ/万円 (売上高比)	0.206	0.19	0.19	0.19
	kg-CO <sub>2</sub>	27,655	25,996	25,719	25,443
電力使用量の削減	kWh/万円 (売上高比)	5.11	4.80	4.75	4.70
	kg-CO <sub>2</sub>	125,324	117,805	116,551	115,298
CO <sub>2</sub> 総排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	165,608	155,672	154,015	152,359
コピー用紙の削減	kg	0.005	0.005	0.005	0.005
不燃ごみの削減	kg	0.131	0.123	0.122	0.121
用水使用量の削減	m <sup>3</sup>	0.0119	0.0112	0.0111	0.0109
グリーン購入化の推進	%	85.6	94(+8%)	95(+9%)	95(+10%)
自社製品のグリーン製 品仕様の推進	%	52.0	59(+7%)	60(+8%)	61(+9%)
会社周辺のゴミ拾い	-	2017～実施	活動記録にて評価 (ゴミ拾い1回/月)		

※中部電力H20年度実排出係数 0.455Kg-CO<sub>2</sub>/kwhを使用

# 環境活動計画

## 2017年度環境活動計画表

化石燃料の削減 (自動車)	<ul style="list-style-type: none"><li>・タイヤの空気圧チェック</li><li>・出張時の公共交通機関利用</li><li>・室内温度管理（冬季20°夏季27°）</li><li>・エコドライブの周知徹底</li></ul>
化石燃料の削減 (灯油)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ストーブタイマーの活用</li><li>・温度計の設置</li><li>・不要箇所は電源OFF</li><li>・5Sパトロールの実施</li></ul>
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・電灯のLED化</li><li>・不要箇所の消灯</li><li>・省エネ機器の選定及び更新</li><li>・OA機器の節電設定</li><li>・5Sパトロールの実施</li></ul>
印刷用紙購入量削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・両面コピー・印刷の徹底</li><li>・再生紙の購入</li><li>・使用済用紙の裏面活用</li><li>・電子データの推進</li><li>・ダンボールの再使用</li><li>・用紙の分別（リサイクル化）</li></ul>
不燃ごみの削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・ゴミ分別の徹底（リサイクル化）</li><li>・私物ゴミの持ち帰り</li><li>・5Sパトロールの実施</li></ul>
用水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・定期的に漏水の点検</li><li>・使用量の把握及び管理</li><li>・節水ポスターの掲示</li><li>・水道口に節水コマ設置</li><li>・節水可能な機器の選定及び更新</li></ul>
グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境に配慮した製品（リサイクル品）の購入</li></ul>
自社製品への環境配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・RoHS及びグリーン購入品を購入</li><li>・省電力化を考慮した設計</li><li>・省エネルギー設計された製品の使用</li><li>・生産の効率化</li><li>・製品及び装置出荷時の梱包の簡素化</li></ul>
会社周辺のゴミ拾い	<ul style="list-style-type: none"><li>・月1回第三月曜日にゴミ拾い行う (会社から半径500m程度の範囲が目安)</li></ul>
社内教育	<ul style="list-style-type: none"><li>・社内勉強会の一環として環境活動を取入れ理解を深める</li></ul>

## 環境目標の実績・評価

環境への負荷実績（単位は売上高比（ /万円）に対する値とする）

	単位	2011年 基準年度	2017年目標 基準年-6%	達成	評価
化石燃料の削減 (ガソリン・軽油)	ℓ/万円 (売上高比)	0.083	0.030	○	○
	kg-CO <sub>2</sub>	10,398	4,021		
化石燃料の削減 (灯油)	ℓ/万円 (売上高比)	0.19	0.22	×	△
	kg-CO <sub>2</sub>	25,996	30,660		
電力使用量の削減	kWh/万円 (売上高比)	5.11	5.34	×	△
	kg-CO <sub>2</sub>	125,324	137,967		
CO <sub>2</sub> 総排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	165,608	172,649	×	△
コピー用紙の削減	kg	0.005	0.004	○	○
不燃ごみの削減	kg	0.131	0.066	○	○
用水使用量の削減	m <sup>3</sup>	0.0119	0.0080	○	○
グリーン購入化の推進	%	86(+8%)	83	×	△
自社製品のグリーン製 品仕様の推進	%	52(+7%)	99.8	○	○
会社周辺のゴミ拾い	-	2017～実施	毎月実施	○	△

CO<sub>2</sub>総排出量は売上高比ではなく実際の排出量で記載

- 達成状況は達成の可否のみを判定する（○×）
- 評価 ○できた △もう一步 ×出来なかった

## 環境への取組結果の評価と次年度の取組

### 化石燃料の削減

- ・ 灯油を別集計にする事により冬場の灯油使用量が要因で目標が不達成となっている事が
- ・ 暖房範囲や錆の問題は有りますが、社員満足度を高めつつ灯油使用量を減らせる暖房機

### 電力使用量の削減

- ・ 売上が同じでもヒーターを使用する専用機の受注が多く目標が達成されませんでした。
- ・ 節電喚起を中心に取り組みます。

### コピー用紙の削減

- ・ 朝礼等で「無駄な印刷をしない」と呼びかけた効果が数字に表れました。
- ・ 本当に印刷する必要があるのか？データでは駄目なのか？を理解して実行出来るよう、朝礼を通じて教育します。

### 不燃ごみの削減

- ・ 老朽化による設備の廃棄が無く、又5S活動の取組を強化した事により全体的に削減できたと考えられる。
- ・ ゴミの分別や個人ゴミ持帰りの徹底をし削減を図っていききたい。

### 用水使用量の削減

- ・ 水を使用する装置のリピート機が多く最小限のテストで動作確認ができた影響で、使用量が減少しました。
- ・ 現状維持で様子を見ます。

### グリーン購入化の推進

- ・ 購買部門がグリーン製品購入を意識して発注していますが、欲しい製品が非対応な事も多く本年度の目標は達成する事ができませんでした。
- ・ 引続きグリーン製品購入できる製品に対しては積極的に購入を進めます。

### 自社製品のグリーン製品使用の推進

- ・ 自社製品を設計する際にグリーン製品購入を前提に設計を行う事を徹底しており、毎年確実に効果が表れています。
- ・ 若い社員も入ってきていますので徐々に部品選定時にグリーン製品購入を気にする様、教育を行っていきます。

### 会社周辺のゴミ拾い

- ・ 本年度より会社から半径500m程度を月1回場所を毎回変えながらゴミ拾いを行いました。12ケ月中10ケ月実施する事ができ、エコ活動と共に地域貢献ができたと思います。
- ・ 引続き毎月実施できるよう計画を立てて行います。

## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用法	内容	対象品・施設	対象作業	評価
水質汚濁防止法	特定施設の設置届	バレル研磨機	設置届の提出	○
	下水道への雑排水の管理	排水口	BOD/COD値測定	○
廃棄物処理法	産業廃棄物の管理	廃油 廃プラ 金属類	廃棄物処理業者との契約	○
			産廃物・リサイクル品の保管場所及び責任者等の表示	○
			報告書の提出 (1回/年6月末まで)	○
消防法	危険物の取扱い	危険物の取扱い	設置届の提出	○
騒音防止法 箕輪町環境条例	コンプレッサー (7.5kw以上)	コンプレッサー	設置届の提出	○
	動力プレス (30hp以上)	動力プレス	騒音の測定及び対応策	○
振動規制法	振動値の把握	プレス工場周辺	振動の測定	○
土壌汚染に関わる 環境基準について	油脂類の流出	油脂類置場 洗浄機	油脂類流出時の 緊急対応策	○
	スクラップへの雨対策	スクラップ置場	スクラップ箱への 防水カバー	○
フロン排出抑制法	エアコン室外機の 管理全般	エアコン室外機	設置台数把握 定期点検 廃棄時の適正処理	○

2017年12月22日に環境関連法規の遵守状況をチェックし、遵守されている事を確認しました。

### 違反・訴訟の有無

活動対象期間2017年1月～12月迄に違反及び起訴はありませんでした。

## 代表者による全体の評価と見直し

エコアクション11年目の今年度もシステムは有効に稼働している結果となりました。

新しい社員も増え品質システムとエコアクションの定義や意義をきちんと伝える事がまだ足りてないと思います。

決まりだからではなく、なぜそれが必要になったかを理解すればよりスムーズな活動ができるはずです。

仕事量も増えている中で、新しい受注に関しては設計段階からスクラップを減らす型設計も可能なので、意識した設計も可能となるはずです。

金型のメンテナンスの頻度や今までこうだったからという理由ではなく、環境にやさしい加工油の導入やIoT・ビックデータの蓄積から生産効率UPが行えるよう構想を立ててください。

IoT, AI, ビックデータにより今後さらにすべての事が加速的に変化していきます。

モノづくりの改善が環境活動の成果と繋がっていくので、リレー活動を行いながら効率を上げていく必要性があると感じています。

今後はウエスの使用量やプレス油の購入頻度など新しい項目を取入れながら、環境活動を行います。



2018年2月13日

代表取締役社長

伊藤 隆志